



北海道・東北



ネット

北海道・東北ネットワーク研究会

山形県開催 〈さくらんぼラウンド〉



R1.6.29in 山形県スポーツ会館 (Sat)

令和元年度北海道・東北ネットワーク研究会が開催されました。今年度は昨年につき、さくらんぼの時期に「さくらんぼラウンド」を開催することができました。佐藤豊先生、高橋修一先生をはじめ、15名参加のもと、日中・夜ともに、内容の濃い、とても充実したラウンドとなりました。

1 トピックス

日本女子体育大学 高橋修一教授より、「新学習指導要領における評価の在り方」についてお話していただきました。これまでの学習評価の課題及び学習評価の改善の基本的な方向性についてお話の後、具体的な変更点等について、分かりやすくご説明をいただきました。

2 グループワーク

続いて、「学習評価」について、参加の先生方でグループワークを行いました。現在の授業の現状や課題について、いろいろ意見交換を行いました。今回は、学生さんからベテランの先生方、教育委員会の指導主事等幅広く参加いただきましたので、様々な年代の先生の課題などが話題となりました。特に、知識と技能の評価についての質問も多くありました。



3 「コンテンツマップ」について



はじめに、佐藤豊先生から今回のワークショップの説明をいただきました。

各校種に分かれたグループで、ゴール型のコンテンツマップの作成に挑戦しました。各グループでは、若い先生方も積極的に意見を出しながら、ボールを持つ動きと持たない動きに分けて、指導内容の整理をしたり、思考力・判断力・表現力等についての例示を参考に、分類しながら適切な内容をあてはめたりしながら、作業を行いました。限られた時間の中での作業でしたが、子どもの姿をイメージしながら、参会の先生方から様々な意見をいただき、お互いに思考することで、大変充実したワークショップになっていたと思います。

その後、ポスターセッションを行い、各グループで作成した「コンテンツマップ」について、意見交換を行いました。意見交換後、各グループで最後のグループワークを行い、頂いた意見を参考に提案の修正を行いました。

その後、ポスターセッションを行い、各グループで作成した「コンテンツマップ」について、意見交換を行いました。意見交換後、各グループで最後のグループワークを行い、頂いた意見を参考に提案の修正を行いました。

4 まとめ

最後に佐藤豊先生から、今回のワークショップでは例示をもとに指導する内容を整理したことで、技能の系統が明確になった。指導する側は、担当する学年の指導内容だけでなく、他の学年との接続や異校種の接続において、指導事項の漏れがないよう確認することが大切である等のご助言をいただきました。

